

## 地域の魅力と新たな芸術文化創造シンポジウム

# 養老孟司氏が基調講演

地域の魅力と新たな芸術文化創造シンポジウムを十月二十二日、葦山時代劇場で開催しました。幕末の代官「江川英龍」の治績に着目した地域文化をとらえ、魅力ある芸術と文化振興の在り方を探る催し。



基調講演を行う養老氏

して、平成十八年度文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業のひとつ。「バカの壁」の著書で知られる東京大学名誉教授の養老孟司氏の基調講演、文化創造鼎談が行われ、約四百七十人が来場しました。

基調講演で養老氏は「文化とは土地への愛着から生まれてくるもの。しかし地域に住む人が自分の地域の魅力を知らないことが多い」と指摘しました。鼎談では、江川家第四十一代当主で江川文庫理事長の江



文化創造鼎談（左から望月市長、江川氏、宮地氏）

川滉二氏、国立歴史民俗博物館名誉教授で江川文庫調査団長の宮地正人氏、望月良和伊豆の国市長が「江川英龍の治績」日本近代化への役割を語

る」をテーマに意見を述べ合いました。宮地氏は「中世の豪族が代官として同じ地で活躍し、既存しているのは全国でも江川家だけ」と特異性を解説。江川氏は「英龍は幕府の代官と幕府の政治中枢にものを言う一つの立場があり、後者は近代化につながった」と述べました。また市長は、「江川家の歴史をどういう形で残し、守っていくかが当面の問題」と市民の理解と

## ハンドボール投げ二連覇

兵庫県で開かれた第六回全国障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫大会」の陸上ハンドボール投げ視覚障害者男子二部に出場し、二年連続で優勝した伊藤新司さん（南条）が十月二十七日、市長を訪れ、結果報告をしました。



笑顔で成績報告する伊藤さん（右）

昨年の記録を一回る三十三メートル八十二の自己新で昨年の岡山大会に続き二連覇を達成した伊藤さんは「一歩一歩前進するため順位を考えず自己記録の更新だけを考えていました。発表を聞いた一一位だったので驚きまじながら話しました。伊藤さんは、昨年ハンドボール投げで優勝、ソフトボール投げで準優勝しましたが、コーチの勧めもあり、今大会ではソフトボール投げから砲

丸投げに転向。同大会の砲丸投げにも出場し、三投とも練習時の記録を超え、自己新の七メートル五十六の記録を残し、全国三位の成績を収めました。市長は「素晴らしい成績。障害のあるないにかかわらず、目標に向かってがんばることは大事だと思います。これからも多くの皆さんに希望を与えていただきたいと思います」と成績をたたえました。

## 福祉と健康にふれあう一日

### 市民ふれあい広場 健康福祉まつり



多くの人が集い、にぎわう会場

十月二十二日、伊豆長岡庁舎駐車場、あやめ会館で第二回市民ふれあい広場・健康福祉まつりを開催しました。健康や福祉に関する体験や展示、餅まき、ミニSSL、出店などさまざまな催しが行われ、四千人の市民らでにぎわいました。なかでも、キャラクターショーは子どもたちの人気を集め、家族連れが対決ショーのほか、クイズにも参加し、正義の味方と楽しいひとときを過ごしました。

また、あやめ会館では、歯科検診や歯周病の予防啓発、血流測定など、健康に関する相談、測定などが行われ、訪れた人たちは、自らの健康を見つめ直すきっかけとなったようでした。

## トロンボーン演奏 谷啓とN響の仲間たち

十月十五日、アクシスカつらぎ大ホールで「谷啓とN響の仲間たち」を開催しました。クレイジーキャッツの名トロンボーン奏者である谷啓さんがN響ブラスクインテットと共に華麗な演奏を披露しました。公演中、谷さんがお馴



トロンボーンを演奏する谷さん

染みの「ガチョーン」を披露すると、会場内は爆笑の渦となりました。また、ジャズシンガーの真梨色ケイさんが特別ゲストとして出演し、持ち前の情熱的な歌声を会場に響かせました。会場には、六百三十人が駆けつけ、クラシックの名曲を堪能するとともに、出演者が繰り広げる抜群のコンピネーションステージを楽しみました。

協力を求めました。このほか、パネルディスカッション、ミニ

二美術展も開かれ、多くの人が関心を示していました。